

■米国：NRC、シーブルック 1 号機の運転延長認可

原子力規制委員会（NRC）は 2019 年 3 月 12 日、シーブルック 1 号（124 万 kW PWR、ニューハンプシャー州）の運転期間を当初の 40 年（運転期限 2030 年 3 月 15 日）から 20 年延長し、60 年（運転期限 2050 年 3 月 15 日）とする運転延長を認可した。1990 年に運転を開始したシーブルック 1 号は 2010 年に本運転延長申請を実施したが、同時期に一部のコンクリート構造物で確認されたアルカリシリカ反応（ASR）と呼ばれる、コンクリート劣化事象の安全性への影響が今回の運転延長審査の論点となっていた。NRC は、「一部の構造物で ASR による劣化は認められるものの、プラント全体の安全性には問題がないこと、また ASR が進行速度の遅い反応であるため、適切な対応により運転延長後の期間においても安全性が問題となることはない」と判断した」と述べている。